

M7.4、東日本で津波



宮城県多賀城市の砂押川をさかのぼる、地震で発生した津波=22日午前

仙台1.4メートル、震度5弱

6県の避難1万4千人

【共同】22日午前5時59分ごろ、福島県沖を震源とするマグニチュード(M)7.4の地震があり、福島、茨城、栃木の3県で震度5弱を観測した。仙台(仙台市)に1.40センチ、福島県の東京電力福島第1、第2原発に100センチ、岩手県の久慈港に80センチの津波が到達した。その後も震度1〜3の地震が続いた。各地で計1万7千人が重軽傷を負った。

気象庁は福島、宮城両県に津波警報、青森、岩手、茨城、千葉各県に津波注意報を出し、午後1時に全て解除。今後1週間程度、最大震度5弱の地震と津波に注意が必要とされている。

大震災思い出した

早朝の警報、住民避難

【共同】「直ちに高台などに避難を」。津波警報が出た福島県いわき市の沿岸部では、日の出前まで薄暗い22日早朝、住民に避難を呼び掛ける防災無線が鳴り響いた。海から約700メートルに位置する同市立錦東小。地域の避難場所となっており、住民ら約30人がストーブをたいた3階の教室に集まった。同校は地震発生後、避難を優先して「だいたい」と指示。教頭(50)は「いきなりドーン」と来て、長い揺れが続いた。いわき市内は車での避難が相次ぎ、大きな渋滞が発生。高台の宿泊施設には約300人が身を寄せた。東日本大震災で自宅が全壊した同市の会社員新妻広志さん(46)は「大震災を思い出した」と話した。

早期の投資協定で合意

日アルゼンチン首脳会談

【ブエノスアイレス共同】安倍晋三首相は21日、日本時間22日未明、アルゼンチン大統領マクリと首脳会談した。両国は早期の投資協定を締結し、貿易協定の早期締結を目指す方針で一致。首脳は関係レベルの交流も深化し、「戦略的パートナー」として緊密に連携することを合意した。会談後、こうした成果を盛り込んだ共同声明を発表した。マクリ氏は「日アルゼンチン間の関係を築くことができ、大変有益」と応じた。アルゼンチンへの日本の現職首相による公式訪問は、1959年の故岸信介氏以来、

減産は来年1月から半年か

OPEC協議、大詰め

【ウィーン共同】石油の加盟国がまとまる可能性が高いと発言。増産を求めるとして、減産を免除を訴えるイラクを含めて足並みをそろえられたいとの見通しを示した。21日の初日会合は約8時間に及んだ。出席者は終了後に「うまくいっていない。意見の食い違いはない。(リビア代表)は、減産の進展を強調した。市場では減産への期待感が広がっており、削減のための試行錯誤が続いている。22日の話し合いが行き詰ると非加盟国との協議にも影響を及ぼしそうだ。

越原発計画、白紙撤回

安倍政権の成長戦略打撃

【ハノイ共同】ベトナム国会は22日、日本とロシアの受注が決まっていた初の原発建設計画について、東京電力福島第1原発事故を受けたコスト増加や財政難などを理由に中止する政府決議案を賛成多数で承認した。計画の白紙撤回が正式に決定。原発輸出を成長戦略の一つに位置付けてきた安倍政権にとって大きな打撃となった。完成すれば東南アジア初の原発となる予定だったが、ベトナム政府は22日、計画中止に関する文書を発表し「日本とロシアの核技術は高いレベルで安全性が保証されている。今回の決定は技術面で問題があるためではない。わが国の経済状況が理由」と説明した。ベトナムではグエン・タン・ズン前首相の政権下で原発導入計画を積極的に推進し、国会は2009年、中部2トン炉を建設する計画を承認。第1原発(2基)はロシアが白紙撤回による電力不足の恐れに近づくと、近隣諸国からの電力購入ネットワークを拡充や再生可能エネルギーの普及を求めている。イラクからの報道によると、減産免除を求めた同国のルイイビ石油相は21日に「加盟国が合意に近づいた新たな提案をする」と表明。同じく協定の鍵を握るイラクのザンギヤネ石油相はOPECのバーキン事務局長に対し、OPEC全体での減産に理解を示した。OPECは28日、ロシアなど非加盟国と生産調整について意見交換する予定だ。ロシアはOPECが減産に踏み切った場合には増産凍結に同意する方針で、22日の話し合いが行き詰ると非加盟国との協議にも影響を及ぼしそうだ。

五輪経費2兆円前後で調整

トランプ氏に調整

【共同】2020年東京五輪・パラリンピックの開催経費について大会組織委員会などが総額2兆円前後とする方向で調整していることが22日、関係者の話で分かった。関係者の話で分かった。国際オリンピック委員会(IOC)、組織委員会、東京都政府の4者は27日にも再度作業部会を開き、費用などを議論する見通しとなっている。組織委員会は13日に開催した4者の実務レベルによる作業部会で、警備、輸送、仮設会場などについて一部の試算を示した。だが、IOCから高額過ぎるとの指摘を受け、IOCとともに再検討を進めている。4者は27日にも再度作業部会を開き、費用などを議論する見通しとなっている。

就任初日にTPP脱退通告

トランプ次期米大統領

【ワシントン共同】米国のトランプ次期大統領は21日、就任初日にTPP脱退を通告する意向を表明した。選挙戦中に脱退を表明していたが、大統領当選後に明言したのとは異なり、就任初日に脱退を表明した。トランプ氏は20日、大統領就任から100日以内の任期にTPPについて「われわれの国にとって潜在的な災

難となる」と述べ「脱退の意思を(他の参加国に)通知する」とした。代わって「米国に雇用や産業を取り戻す公正な2国間の貿易協定」に向けて交渉すると言及。日本に対する2国間協定の打診も検討すると言及した。

アジア太平洋経済協力会議(APEC)は20日の首脳宣言で、あらゆる形の保護主義を排除する決意を表明したが、トランプ次期政権によるTPP離脱は貿易自由化の停滞を招きそうだ。協定内容を変更し、米

トランプ氏は21日のビデオ声明で、就任後100日間で規制緩和や不法移民対策に力を入れるとも表明。不法移民の取り締まりを強化し、査証違反の調査を労働者に指示するほか、シェンゲン協定を模倣する動きも示した。「サイバー攻撃などあらゆる攻撃から米国を守るための総論的な政策」の作成や、政府機関の離職者に5年間、ロビー活動を禁じることも表明した。

【共同】2020年東京五輪・パラリンピックの開催経費について大会組織委員会などが総額2兆円前後とする方向で調整していることが22日、関係者の話で分かった。関係者の話で分かった。国際オリンピック委員会(IOC)、組織委員会、東京都政府の4者は27日にも再度作業部会を開き、費用などを議論する見通しとなっている。

【共同】2020年東京五輪・パラリンピックの開催経費について大会組織委員会などが総額2兆円前後とする方向で調整していることが22日、関係者の話で分かった。関係者の話で分かった。国際オリンピック委員会(IOC)、組織委員会、東京都政府の4者は27日にも再度作業部会を開き、費用などを議論する見通しとなっている。

JAPÃO TRADICIONAL 2017 "Pacote de 17 dias" VIA DUBAI. Itinerary: 26, 27, 28, 30 e 31/MAR; 1 e 3/ABR; 13/MAI; 1 e 8/JUL; 9/SET; 14 e 28/OUT. Itinerário: Dubai, Tokyo, Kanazawa, Shirakawago, Takayama, Nagoya, Kyoto, Nara, Hiroshima, Miyajima, Himeji, Osaka, Hakone, Monte Fuji e Tokyo.

Myanmar e Singapura via Dubai. 02 noites em Yangon, a capital cultural de Myanmar; 03 noites em Bagan; 03 noites em Singapura e 03 noites em Dubai. Saídas: Dez de 2016/ Fev e Março de 2017. TUNIBRATRAVEL renovando e realizando suas viagens! www.tunibra.com.br | tunibra@tunibra.com.br

ニッケイ俳壇

富重久子 選

(915)

ヴァルゼン・グランデ 飯田 正子

○釣りに行く孫の恋人夏帽子
 ○遠くより霞の如き白イペー
 南伯よりシヤンペン届く年の暮
 カマラダ桑の実食べて吠えられて
 炎天下滑稽道遠し

○何と若々しい明るい俳句である事、季節
 の「夏帽子」がびびりたりと動かないよい選
 択であった。

「孫の恋人」とあるように、自分の子供
 であるこの様にのんびりとは詠めないも
 ので、孫となる何となく恋人にも鷹揚に
 なることが、私にも経験があつて含みのあ
 るよい俳句であった。

○二句目「白イペー」を詠んで心にしむ
 るよい一句である。白イペーは街中ではあ
 まり見られない、この句の様は遠く彼方の
 町外れに、今を盛りと白イペーが霞のよう
 に眺められたという一句。

○この句の季語「火取虫」は、夏の夜燈に
 狂う蛾の事であるが、アパートの十五階で
 も真夏になって、スタンドを付けた本を読ん
 でいると何匹もやってくる。
 作者は真剣に俳句を読み返し、推敲を重ね

読者文芸

木陰句会

（11月分）
 青コーヒー 悲喜哀楽の移
 移るいなむらの火や津波
 の日 香山 和菜
 老人の日何時し吾も祝
 われて 矢島みどり
 久闊の友と逢えるも憂鬱
 かな 吉田しのぶ
 耕主老いて若荷憂延（は
 びこ）るばかりなり

角田 梢 エネンの日アベニ夕滂
 敷薬に柔き首出し若荷の
 子 青木 駿浪 鈴成りのジャツカ樹称
 訪日の夢かなまじふ青
 珈琲 菊池 信子 心太する喉元通りけり
 へだて無き友と 刻かき 西川あけみ
 水 猪野ミツエ 熟れジャツカ呉れてもい
 苦瓜の苦味が夏ハテ防止
 とか 伊藤きみ子 らぬと云いにけり

ワゴンピース 黒木安希子
 教会は町の真ん中夏木立
 湯田南山子 湯田南山子
 混血の容貌なりし新装
 伊津野 静 日盛りに大酒を呷（あ
 ぶらり）りて雨天童子
 中馬 淳一 日盛りに釣りに無心や釣
 天狗 山岡 秋雄

山眺め心みどりに初夏句 二人 吉峰 倫子
 う やわらかき春の日射しの
 小林 誠 満つる中若葉の陰に遊ぶ
 道路脇ジャツカたわわに 小すずめ 坂田 栄子
 ぶらり 日盛りに大酒を呷（あ
 ぶらり）りて雨天童子
 中馬 淳一 日盛りに釣りに無心や釣
 天狗 山岡 秋雄

アチハイア

宮原 育子
 ◎蘇る妻との日々や墓参の日
 イサを獲る女子供等奇声あげ
 七曲り森の旧道風薫る
 花作り秋の田舎風薫る

◎最近は何となく、時々「私に後ど
 れ位の余生があるだろう」と考えさせら
 れている。我が家にも身近に二人の位牌が
 あつて仏壇にお花やお供えを申したが、何
 といっても若くして亡くなった人は、何時
 までも諦められないで居る。

◎この句の様に、早く連れ合いを亡くされ
 た方は、寂しく不自由でもあろうかと推察
 させられ、身につまされる想いで毎年のお
 盆を迎えている。

◎盆ちかしみんと会える楽しみに
 電話線にサビア二羽まで嘯りぬ
 思ひ出のミナスあじさい花芽持つ
 シヤワい浴び坐れば窓に春の月

◎内容の良い印象に残る俳句でしたが、季
 重なりがありましたので添削させていただきます。
 お気を付け下さい。

◎更衣女らしさを失はず
 薔薇を手に思はぬ人の尋ね来し
 百合香る浅き眠りの枕辺に
 盛んなる文化交流文化の日

◎もうそろそろ衣替えの頃かなと思つてい
 たが、今日など冬支度のものである。
 日本は四季がはっきりしているので紺の
 セーラー服から純白のセーラー服に替わる
 時は、真に清々しい女学生姿であったのが
 忘れられない。「女らしさを」失うことな
 く暮らしたいものである。

◎買物に歩き始めた孫
 雨上り青葉若葉を眺めお
 れば疲れしまなごに生気
 戻れり 千田 修子
 恐竜のテロノサウルス踏
 みつけし赤き大地に若草
 萌ゆる 小濃 芳子
 若人の力を言えしがはかなく
 輪其の合ひ言葉又東京で
 伊藤 智恵 再会を言ひしはびて立てり
 桜咲く辺に

◎この句の季語「火取虫」は、夏の夜燈に
 狂う蛾の事であるが、アパートの十五階で
 も真夏になって、スタンドを付けた本を読ん
 でいると何匹もやってくる。
 作者は真剣に俳句を読み返し、推敲を重ね

◎この句の季語「火取虫」は、夏の夜燈に
 狂う蛾の事であるが、アパートの十五階で
 も真夏になって、スタンドを付けた本を読ん
 でいると何匹もやってくる。
 作者は真剣に俳句を読み返し、推敲を重ね

◎この句の季語「火取虫」は、夏の夜燈に
 狂う蛾の事であるが、アパートの十五階で
 も真夏になって、スタンドを付けた本を読ん
 でいると何匹もやってくる。
 作者は真剣に俳句を読み返し、推敲を重ね

アチハイア

吉田 繁
 ◎蘇る妻との日々や墓参の日
 イサを獲る女子供等奇声あげ
 七曲り森の旧道風薫る
 花作り秋の田舎風薫る

◎最近は何となく、時々「私に後ど
 れ位の余生があるだろう」と考えさせら
 れている。我が家にも身近に二人の位牌が
 あつて仏壇にお花やお供えを申したが、何
 といっても若くして亡くなった人は、何時
 までも諦められないで居る。

◎この句の様に、早く連れ合いを亡くされ
 た方は、寂しく不自由でもあろうかと推察
 させられ、身につまされる想いで毎年のお
 盆を迎えている。

◎盆ちかしみんと会える楽しみに
 電話線にサビア二羽まで嘯りぬ
 思ひ出のミナスあじさい花芽持つ
 シヤワい浴び坐れば窓に春の月

◎内容の良い印象に残る俳句でしたが、季
 重なりがありましたので添削させていただきます。
 お気を付け下さい。

◎更衣女らしさを失はず
 薔薇を手に思はぬ人の尋ね来し
 百合香る浅き眠りの枕辺に
 盛んなる文化交流文化の日

◎もうそろそろ衣替えの頃かなと思つてい
 たが、今日など冬支度のものである。
 日本は四季がはっきりしているので紺の
 セーラー服から純白のセーラー服に替わる
 時は、真に清々しい女学生姿であったのが
 忘れられない。「女らしさを」失うことな
 く暮らしたいものである。

◎買物に歩き始めた孫
 雨上り青葉若葉を眺めお
 れば疲れしまなごに生気
 戻れり 千田 修子
 恐竜のテロノサウルス踏
 みつけし赤き大地に若草
 萌ゆる 小濃 芳子
 若人の力を言えしがはかなく
 輪其の合ひ言葉又東京で
 伊藤 智恵 再会を言ひしはびて立てり
 桜咲く辺に

◎この句の季語「火取虫」は、夏の夜燈に
 狂う蛾の事であるが、アパートの十五階で
 も真夏になって、スタンドを付けた本を読ん
 でいると何匹もやってくる。
 作者は真剣に俳句を読み返し、推敲を重ね

◎この句の季語「火取虫」は、夏の夜燈に
 狂う蛾の事であるが、アパートの十五階で
 も真夏になって、スタンドを付けた本を読ん
 でいると何匹もやってくる。
 作者は真剣に俳句を読み返し、推敲を重ね

◎この句の季語「火取虫」は、夏の夜燈に
 狂う蛾の事であるが、アパートの十五階で
 も真夏になって、スタンドを付けた本を読ん
 でいると何匹もやってくる。
 作者は真剣に俳句を読み返し、推敲を重ね

アチハイア

吉田 繁
 ◎蘇る妻との日々や墓参の日
 イサを獲る女子供等奇声あげ
 七曲り森の旧道風薫る
 花作り秋の田舎風薫る

◎最近は何となく、時々「私に後ど
 れ位の余生があるだろう」と考えさせら
 れている。我が家にも身近に二人の位牌が
 あつて仏壇にお花やお供えを申したが、何
 といっても若くして亡くなった人は、何時
 までも諦められないで居る。

◎この句の様に、早く連れ合いを亡くされ
 た方は、寂しく不自由でもあろうかと推察
 させられ、身につまされる想いで毎年のお
 盆を迎えている。

◎盆ちかしみんと会える楽しみに
 電話線にサビア二羽まで嘯りぬ
 思ひ出のミナスあじさい花芽持つ
 シヤワい浴び坐れば窓に春の月

◎内容の良い印象に残る俳句でしたが、季
 重なりがありましたので添削させていただきます。
 お気を付け下さい。

◎更衣女らしさを失はず
 薔薇を手に思はぬ人の尋ね来し
 百合香る浅き眠りの枕辺に
 盛んなる文化交流文化の日

◎もうそろそろ衣替えの頃かなと思つてい
 たが、今日など冬支度のものである。
 日本は四季がはっきりしているので紺の
 セーラー服から純白のセーラー服に替わる
 時は、真に清々しい女学生姿であったのが
 忘れられない。「女らしさを」失うことな
 く暮らしたいものである。

◎買物に歩き始めた孫
 雨上り青葉若葉を眺めお
 れば疲れしまなごに生気
 戻れり 千田 修子
 恐竜のテロノサウルス踏
 みつけし赤き大地に若草
 萌ゆる 小濃 芳子
 若人の力を言えしがはかなく
 輪其の合ひ言葉又東京で
 伊藤 智恵 再会を言ひしはびて立てり
 桜咲く辺に

◎この句の季語「火取虫」は、夏の夜燈に
 狂う蛾の事であるが、アパートの十五階で
 も真夏になって、スタンドを付けた本を読ん
 でいると何匹もやってくる。
 作者は真剣に俳句を読み返し、推敲を重ね

◎この句の季語「火取虫」は、夏の夜燈に
 狂う蛾の事であるが、アパートの十五階で
 も真夏になって、スタンドを付けた本を読ん
 でいると何匹もやってくる。
 作者は真剣に俳句を読み返し、推敲を重ね

◎この句の季語「火取虫」は、夏の夜燈に
 狂う蛾の事であるが、アパートの十五階で
 も真夏になって、スタンドを付けた本を読ん
 でいると何匹もやってくる。
 作者は真剣に俳句を読み返し、推敲を重ね

アチハイア

吉田 繁
 ◎蘇る妻との日々や墓参の日
 イサを獲る女子供等奇声あげ
 七曲り森の旧道風薫る
 花作り秋の田舎風薫る

◎最近は何となく、時々「私に後ど
 れ位の余生があるだろう」と考えさせら
 れている。我が家にも身近に二人の位牌が
 あつて仏壇にお花やお供えを申したが、何
 といっても若くして亡くなった人は、何時
 までも諦められないで居る。

◎この句の様に、早く連れ合いを亡くされ
 た方は、寂しく不自由でもあろうかと推察
 させられ、身につまされる想いで毎年のお
 盆を迎えている。

◎盆ちかしみんと会える楽しみに
 電話線にサビア二羽まで嘯りぬ
 思ひ出のミナスあじさい花芽持つ
 シヤワい浴び坐れば窓に春の月

◎内容の良い印象に残る俳句でしたが、季
 重なりがありましたので添削させていただきます。
 お気を付け下さい。

◎更衣女らしさを失はず
 薔薇を手に思はぬ人の尋ね来し
 百合香る浅き眠りの枕辺に
 盛んなる文化交流文化の日

◎もうそろそろ衣替えの頃かなと思つてい
 たが、今日など冬支度のものである。
 日本は四季がはっきりしているので紺の
 セーラー服から純白のセーラー服に替わる
 時は、真に清々しい女学生姿であったのが
 忘れられない。「女らしさを」失うことな
 く暮らしたいものである。

◎買物に歩き始めた孫
 雨上り青葉若葉を眺めお
 れば疲れしまなごに生気
 戻れり 千田 修子
 恐竜のテロノサウルス踏
 みつけし赤き大地に若草
 萌ゆる 小濃 芳子
 若人の力を言えしがはかなく
 輪其の合ひ言葉又東京で
 伊藤 智恵 再会を言ひしはびて立てり
 桜咲く辺に

◎この句の季語「火取虫」は、夏の夜燈に
 狂う蛾の事であるが、アパートの十五階で
 も真夏になって、スタンドを付けた本を読ん
 でいると何匹もやってくる。
 作者は真剣に俳句を読み返し、推敲を重ね

◎この句の季語「火取虫」は、夏の夜燈に
 狂う蛾の事であるが、アパートの十五階で
 も真夏になって、スタンドを付けた本を読ん
 でいると何匹もやってくる。
 作者は真剣に俳句を読み返し、推敲を重ね

◎この句の季語「火取虫」は、夏の夜燈に
 狂う蛾の事であるが、アパートの十五階で
 も真夏になって、スタンドを付けた本を読ん
 でいると何匹もやってくる。
 作者は真剣に俳句を読み返し、推敲を重ね

アチハイア

吉田 繁
 ◎蘇る妻との日々や墓参の日
 イサを獲る女子供等奇声あげ
 七曲り森の旧道風薫る
 花作り秋の田舎風薫る

◎最近は何となく、時々「私に後ど
 れ位の余生があるだろう」と考えさせら
 れている。我が家にも身近に二人の位牌が
 あつて仏壇にお花やお供えを申したが、何
 といっても若くして亡くなった人は、何時
 までも諦められないで居る。

◎この句の様に、早く連れ合いを亡くされ
 た方は、寂しく不自由でもあろうかと推察
 させられ、身につまされる想いで毎年のお
 盆を迎えている。

◎盆ちかしみんと会える楽しみに
 電話線にサビア二羽まで嘯りぬ
 思ひ出のミナスあじさい花芽持つ
 シヤワい浴び坐れば窓に春の月

◎内容の良い印象に残る俳句でしたが、季
 重なりがありましたので添削させていただきます。
 お気を付け下さい。

◎更衣女らしさを失はず
 薔薇を手に思はぬ人の尋ね来し
 百合香る浅き眠りの枕辺に
 盛んなる文化交流文化の日

◎もうそろそろ衣替えの頃かなと思つてい
 たが、今日など冬支度のものである。
 日本は四季がはっきりしているので紺の
 セーラー服から純白のセーラー服に替わる
 時は、真に清々しい女学生姿であったのが
 忘れられない。「女らしさを」失うことな
 く暮らしたいものである。

◎買物に歩き始めた孫
 雨上り青葉若葉を眺めお
 れば疲れしまなごに生気
 戻れり 千田 修子
 恐竜のテロノサウルス踏
 みつけし赤き大地に若草
 萌ゆる 小濃 芳子
 若人の力を言えしがはかなく
 輪其の合ひ言葉又東京で
 伊藤 智恵 再会を言ひしはびて立てり
 桜咲く辺に

◎この句の季語「火取虫」は、夏の夜燈に
 狂う蛾の事であるが、アパートの十五階で
 も真夏になって、スタンドを付けた本を読ん
 でいると何匹もやってくる。
 作者は真剣に俳句を読み返し、推敲を重ね

◎この句の季語「火取虫」は、夏の夜燈に
 狂う蛾の事であるが、アパートの十五階で
 も真夏になって、スタンドを付けた本を読ん
 でいると何匹もやってくる。
 作者は真剣に俳句を読み返し、推敲を重ね

◎この句の季語「火取虫」は、夏の夜燈に
 狂う蛾の事であるが、アパートの十五階で
 も真夏になって、スタンドを付けた本を読ん
 でいると何匹もやってくる。
 作者は真剣に俳句を読み返し、推敲を重ね

アチハイア

吉田 繁
 ◎蘇る妻との日々や墓参の日
 イサを獲る女子供等奇声あげ
 七曲り森の旧道風薫る
 花作り秋の田舎風薫る

◎最近は何となく、時々「私に後ど
 れ位の余生があるだろう」と考えさせら
 れている。我が家にも身近に二人の位牌が
 あつて仏壇にお花やお供えを申したが、何
 といっても若くして亡くなった人は、何時
 までも諦められないで居る。

◎この句の様に、早く連れ合いを亡くされ
 た方は、寂しく不自由でもあろうかと推察
 させられ、身につまされる想いで毎年のお
 盆を迎えている。

◎盆ちかしみんと会える楽しみに
 電話線にサビア二羽まで嘯りぬ
 思ひ出のミナスあじさい花芽持つ
 シヤワい浴び坐れば窓に春の月

◎内容の良い印象に残る俳句でしたが、季
 重なりがありましたので添削させていただきます。
 お気を付け下さい。

◎更衣女らしさを失はず
 薔薇を手に思はぬ人の尋ね来し
 百合香る浅き眠りの枕辺に
 盛んなる文化交流文化の日

◎もうそろそろ衣替えの頃かなと思つてい
 たが、今日など冬支度のものである。
 日本は四季がはっきりしているので紺の
 セーラー服から純白のセーラー服に替わる
 時は、真に清々しい女学生姿であったのが
 忘れられない。「女らしさを」失うことな
 く暮らしたいものである。

◎買物に歩き始めた孫
 雨上り青葉若葉を眺めお
 れば疲れしまなごに生気
 戻れり 千田 修子
 恐竜のテロノサウルス踏
 みつけし赤き大地に若草
 萌ゆる 小濃 芳子
 若人の力を言えしがはかなく
 輪其の合ひ言葉又東京で
 伊藤 智恵 再会を言ひしはびて立てり
 桜咲く辺に

◎この句の季語「火取虫」は、夏の夜燈に
 狂う蛾の事であるが、アパートの十五階で
 も真夏になって、スタンドを付けた本を読ん
 でいると何匹もやってくる。
 作者は真剣に俳句を読み返し、推敲を重ね

◎この句の季語「火取虫」は、夏の夜燈に
 狂う蛾の事であるが、アパートの十五階で
 も真夏になって、スタンドを付けた本を読ん
 でいると何匹もやってくる。
 作者は真剣に俳句を読み返し、推敲を重ね

◎この句の季語「火取虫」は、夏の夜燈に
 狂う蛾の事であるが、アパートの十五階で
 も真夏になって、スタンドを付けた本を読ん
 でいると何匹もやってくる。
 作者は真剣に俳句を読み返し、推敲を重ね

アチハイア

吉田 繁
 ◎蘇る妻との日々や墓参の日
 イサを獲る女子供等奇声あげ
 七曲り森の旧道風薫る
 花作り秋の田舎風薫る

◎最近は何となく、時々「私に後ど
 れ位の余生があるだろう」と考えさせら
 れている。我が家にも身近に二人の位牌が
 あつて仏壇にお花やお供えを申したが、何
 といっても若くして亡くなった人は、何時
 までも諦められないで居る。

◎この句の様に、早く連れ合いを亡くされ
 た方は、寂しく不自由でもあろうかと推察
 させられ、身につまされる想いで毎年のお
 盆を迎えている。

◎盆ちかしみんと会える楽しみに
 電話線にサビア二羽まで嘯りぬ
 思ひ出のミナスあじさい花芽持つ
 シヤワい浴び坐れば窓に春の月

◎内容の良い印象に残る俳句でしたが、季
 重なりがありましたので添削させていただきます。
 お気を付け下さい。

◎更衣女らしさを失はず
 薔薇を手に思はぬ人の尋ね来し
 百合香る浅き眠りの枕辺に
 盛んなる文化交流文化の日

◎もうそろそろ衣替えの頃かなと思つてい
 たが、今日など冬支度のものである。
 日本は四季がはっきりしているので紺の
 セーラー服から純白のセーラー服に替わる
 時は、真に清々しい女学生姿であったのが
 忘れられない。「女らしさを」失うことな
 く暮らしたいものである。

◎買物に歩き始めた孫
 雨上り青葉若葉を眺めお
 れば疲れしまなごに生気
 戻れり 千田 修子
 恐竜のテロノサウルス踏
 みつけし赤き大地に若草
 萌ゆる 小濃 芳子
 若人の力を言えしがはかなく
 輪其の合ひ言葉又東京で
 伊藤 智恵 再会を言ひしはびて立てり
 桜咲く辺に

◎この句の季語「火取虫」は、夏の夜燈に
 狂う蛾の事であるが、アパートの十五階で
 も真夏になって、スタンドを付けた本を読ん
 でいると何匹もやってくる。
 作者は真剣に俳句を読み返し、推敲を重ね

◎この句の季語「火取虫」は、夏の夜燈に
 狂う蛾の事であるが、アパートの十五階で
 も真夏になって、スタンドを付けた本を読ん
 でいると何匹もやってくる。
 作者は真剣に俳句を読み返し、推敲を重ね

◎この句の季語「火取虫」は、夏の夜燈に
 狂う蛾の事であるが、アパートの十五階で
 も真夏になって、スタンドを付けた本を読ん
 でいると何匹もやってくる。
 作者は真剣に俳句を読み返し、推敲を重ね

アチハイア

吉田 繁
 ◎蘇る妻との日々や墓参の日
 イサを獲る女子供等奇声あげ
 七曲り森の旧道風薫る
 花作り秋の田舎風薫る

◎最近は何となく、時々「私に後ど
 れ位の余生があるだろう」と考えさせら
 れている。我が家にも身近に二人の位牌が
 あつて仏壇にお花やお供えを申したが、何
 といっても若くして亡くなった人は、何時
 までも諦められないで居る。

◎この句の様に、早く連れ合いを亡くされ
 た方は、寂しく不自由でもあろうかと推察
 させられ、身につまされる想いで毎年のお
 盆を迎えている。

◎盆ちかしみんと会える楽しみに
 電話線にサビア二羽まで嘯りぬ
 思ひ出のミナスあじさい花芽持つ
 シヤワい浴び坐れば窓に春の月

◎内容の良い印象に残る俳句でしたが、季
 重なりがありましたので添削させていただきます。
 お気を付け下さい。

◎更衣女らしさを失はず
 薔薇を手に思はぬ人の尋ね来し
 百合香る浅き眠りの枕辺に
 盛んなる文化交流文化の日

◎もうそろそろ衣替えの頃かなと思つてい
 たが、今日など冬支度のものである。
 日本は四季がはっきりしているので紺の
 セーラー服から純白のセーラー服に替わる
 時は、真に清々しい女学生姿であったのが
 忘れられない。「女らしさを」失うことな
 く暮らしたいものである。

◎買物に歩き始めた孫
 雨上り青葉若葉を眺めお
 れば疲れしまなごに生気
 戻れり 千田 修子
 恐竜のテロノサウルス踏
 みつけし赤き大地に若草
 萌ゆる 小濃 芳子
 若人の力を言えしがはかなく
 輪其の合ひ言葉又東京で
 伊藤 智恵 再会を言ひしはびて立てり
 桜咲く辺に

◎この句の季語「火取虫」は、夏の夜燈に
 狂う蛾の事であるが、アパートの十五階で
 も真夏になって、スタンドを付けた本を読ん
 でいると何匹もやってくる。
 作者は真剣に俳句を読み返し、推敲を重ね

◎この句の季語「火取虫」は、夏の夜燈に
 狂う蛾の事であるが、アパートの十五階で
 も真夏になって、スタンドを付けた本を読ん
 でいると何匹もやってくる。
 作者は真剣に俳句を読み返し、推敲を重ね

◎この句の季語「火取虫」は、夏の夜燈に
 狂う蛾の事であるが、アパートの十五階で
 も真夏になって、スタンドを付けた本を読ん
 でいると何匹もやってくる。
 作者は真剣に俳句を読み返し、推敲を重ね

アチハイア

吉田 繁
 ◎蘇る妻との日々や墓参の日
 イサを獲る女子供等奇声あげ
 七曲り森の旧道風薫る
 花作り秋の田舎風薫る

◎最近は何となく、時々「私に後ど
 れ位の余生があるだろう」と考えさせら
 れている。我が家にも身近に二人の位牌が
 あつて仏壇にお花やお供えを申したが、何
 といっても若くして亡くなった人は、何時
 までも諦められないで居る。

◎この



11月22日版

なぜプーチンが好きなのか？

トランプ式の発想を推測する

さて、今回はアメリカとロシアの関係について

とロシアの関心についてです。2014年2月、ロシアの西の隣国ウクライナで、革命が起こりました。

親ロシアのヤヌコビッチ大統領が失脚した。そして、親欧米派が政権につきました。

2014年3月、ロシアは、クリミアを併合。これで、欧米+日本は、対ロシア制裁を課した。制裁は、今もつづいています。

ロシアにとってさらに悪いことに、原油価格がバレル100ドルから一時30ドル台まで大暴落。

今見ると、北海ブレントは、バレル47ドルでした。それでも、100ドルの半分以下。

さらに、ルーブルが大暴落した。クリミア併合前は、1ドル=35ルーブルくらいだったのが、70ルーブルまで下がった。

今見ると、1ドル=64.7ルーブルでした。つまり、ロシアは2014年3月から現在に至るまで、「経済制裁」「原油安」「ルーブル安」の三重苦で苦し



2005年、戦勝60周年記念式典にて各国首脳と。左から日本首相の小泉純一郎、フランス大統領のジャック・シラク、ドイツ首相のゲアハルト・シュレーダー、プーチン、アメリカ大統領のジョージ・W・ブッシュ(後職はすべて当時のもの、Krenlin.ru, via Wikimedia Commons)

ような男(2)トランプは、悪魔プーチンの操り人形(3)だから、トランプに投票しないでね!

しかし、トランプの姿勢は、「費してしました。俺はプーチンと会ったこともない。しかし、プーチンと協力してISをぶちめれば、いいじゃないか?」

この点は、最後の最後までぶれることなく一貫していました。そして、勝利後は、早速ロシアとの関係改善に

意欲を燃やしています。《トランプ氏と露大統領と電話協議》関係正常化で「毎日新聞」11/15(火)10:24配信

「モスクワ真野森作」米国の次期大統領になったドナルド・トランプ氏とロシアのプーチン大統領は14日、トランプ氏の当選後初となる電話協議を実施した。

両者は、現在、険悪な米露関係の正常化を目指すとことや、「共通の大敵」である国際テロ組織との戦いで協力すべきだといった考えで一致。今後も電話協議を続けながら、会談実施を目指すことで合意した。

苦しいロシアがアメリカとの和解を望むのはわかる。でも、なぜトランプが、ロシアとの和解を望むのでしょうか?

トランプが一貫して主張しているのは、「プーチンと協力してISをぶちめろ」ということ。シリア情勢について、簡単に触れておきましょう。2011年にシリア内戦がはじまった。

現大統領の「アサド派」。反大統領の「反アサド派」。当時、「イスラム国」(IS)は、「反アサド派」に属していた。

ISは、アサド政権が存続しても別にアメリカは困らない。皆さんどうですか? 私は、「まさに正論じゃないか?」と思いま

「本文の要旨」大阪名物「5・10日」あるパーティで、商工会議所の理事に5・10日の疑問を投げかけた。その理事は「顔を見に行くんですよ」とあっさ

り答えた。疑念は解けた。大阪商人は、5・10日に商売相手の顔を見に行くのだ。決済日に、相手の会社へ行く。そのついでに、お茶を

飲ませながら、商売相手と顔を合わせ、ほ

いってくる。トランプから見ると、プーチンは、「無料」でアメリカの敵をつぶしてくれている。経営者の彼にとって、こんなうれしいことはないのです。

★米露関係はこれからよくなる

本メルマガでは、「シリア問題で米露関係は悪化しているが、それも選挙まで待たせよう」と予断していません。

予断どおり、米露関係は、改善にむかっています。

す。そして、「アサド政権は存続してもいいから、世界の敵ISをつぶせ」というのは、プーチンの考えと同じなので

というの、アサドは「親ロシア」で、シリアにはロシア海軍基地もある。

ちなみにロシアは2015年9月から、「反アサド派」「IS」への空爆を実施しています。

プーチンの目標は、「親ロシア・アサド政権を守る」ですから、迷いも二面性もありませ

ん。オバマと違って、じゃんじゃん石油インフラを空爆し、ISに壊滅的打撃を与えた。

トランプは、この様子を見て、「偉いぞ、プーチン!」とほめていた。

トランプさんは経営者。だからお金の計算をします。プーチンは、アメリカでテロを起こすISを叩

いてくれる。トランプには、「日本は、アメリカの属国でなければならぬ」という固定観念がある。

これが「政治畑」を全然歩んでこなかった彼

のよところ。日本は、今までと違って、対ロシア関係で「行動の自由」を得ることで

第2次大戦前も、「満

洲は日本の生命線!」などという、アメリカ、イギリス、ソ連、中国を同時に敵にまわしてしまっ

た。今回は、「アメリカとロシアを味方にし、中国に侵略のアクションを起

こさせない」これが日露関係改善の意義です。

北方4島を返還しても、北方4島を返還しても、

しかし、中国から沖縄を守ることは、もっと重要ではないでしょうか?

安倍総理は、こういう「大戦略的意義」を自覚して、ロシアとの和解を実現していただきたいと思

です。トランプから見ると、プーチンは、「無料」でアメリカの敵をつぶしてくれている。経営者の彼にとって、こんなうれしいことはないのです。

★中ロ間で、北方4島作島、尖閣、「沖繩」を日本に放棄させる

★アメリカを反日統一共同戦線に引き入れる

トランプさんとうつさあつたらいいかは、こちらを「読」ください。

北野が「世界情勢分析」する方法を完全暴露しています。これを読むと、あなた自身で、日本と世界の未来を予測できる。大阪を一言で表現するならば、「濃い」だ。ともかく大阪は密度が濃い。それは、空間の濃さと歴史の濃さだ。

大阪の路地の、「一杯飲み屋はおっちゃん達のサングキアアア(聖域)」。隣り合っても各々名刺交換など金輪際ない。

しかし、いつの間にか負け続けの阪神をけなし合い、競馬の大穴情報を交換したりしている。

毛利輝元は関ヶ原の派手な戦術の陰に隠れていて注目されていない。

しかし、この毛利輝元こそ、山や海を駆け巡る狩猟する人々の最後の総大将であった。

毛利輝元は海を駆け巡った最後の戦国大名であった。

福岡は都市の条件の4番目「交流」が大きなウエイトを占めていた。

ここには「安全」「食糧」「エネルギー」はない。しかし、その障壁を吹き飛ばすほどの「交流」があった。

ユーラシア大陸からたどり着く、大交流軸に福岡は位置していた。

交流する情報のなかで一番中味が詰まっているのが人間だ。

太古の昔から福岡へ人という情報が流れていて福岡の異常ともいえる繁栄は必然であったのだ。

源頼朝は、14歳から34歳まで、明るく温暖な伊豆、三浦、房総半島で、健康な幸せな時代を過ごしていた。

20年間の生活で頼朝は関東地方を知り尽くしていた。

このことを知った上で彼は、わざわざ山と海で囲まれた一番狭い鎌倉を本拠地に選んだ。

若き頼朝は伊豆半島から三浦半島、房総半島を行き来して育った。

舟上で潮風に当たり、肌は黒く日焼けして、伊豆や箱根の山に登り足腰を鍛えていた。

新鮮な海の幸、山の幸を食べ、三浦氏や千葉氏と酒を酌み交わし、恋をして、温泉に浸かり心身を養生していた。

メルマガ「国際インテリジェンス機密ファイル」



日系社会ボランティア30周年

リレーエッセイでたどる絆

第5回

山本貞子
【略歴】岡山県出身。65歳。
日系社会シニアボランティアとして2010年から12年まで...



母・貞子さんと娘・裕美子さん

ルの知識だった。
まず、娘・裕美子さんが初めてブラジルに足を踏み入れたのは、大学の卒業旅行で南米を旅した時...

魅了され、ついには中国の大学からJICAシニアボランティアの道に進んだ。
偶然にも、母娘で日系社会ボランティアとなり...

なから、多くの日系の方々と触れ合い、日本語教育に限らず多くのことを学ばせていただいた。
旅のよう、初めて見る...

ほんの10年前まで、私たちが母娘はブラジルとこんな深い絆ができたとは考えもつかなかった。日本人の誰かか...

描く、コーヒー豆とサツカーとサンバと広い大地。それが母娘のブラジル。
次に、ブラジル日本移民百周年の記念すべき時に、娘は日系社会青年ボランティア22回生(文)

歌手の青木カナさんが企画し5日、聖市のシヨロライヴ・デヴァツサでシヨロライヴを行なった。09年に結成した6人組バンド「シヨロンド・エン・ヘメノール」とともに、およそ30曲を披露した。

「この仕事を今止めるなら、持っているトラクトールを売って、借金が丁度ゼロになる。どうするか」
私は嬉しかった。やっとな、町で暮らすことが出来る。とうとう、すってんてんになった。

イビウナナの町へ戻ってきた。大きな道路際の家を見つけた。奥行き広い平屋である。
私は「ここで食堂を開けよう」と一郎に言う許してくれられた。
サイラ(居間)と二つの室は食堂にすることにした。椅子だけは、数脚買ってきた。いまあるメーザ(机)や大きな丸いテーブルは、そのまま利用することにして、食器もとりあえず少々買った。宣伝など考えもしない。人が通り過ぎて行く入口は、小さなドアがひとつあるだけ。狭い入口から奥まで細い廊下になっている。二つの室は仕切られていて、その壁を取り除けば結構、食堂らしいものになる。
私はその辺の左官やんを呼んで、見積もらせた。高過ぎる。今、そんな金はない。壁とやんも一応セメントを塗ってはあがるが、中はレンガだ。天井の所からレンガを一枚一枚剥がして行けば、女の力でも簡単と踏んだ。すぐに梯子に乗って、上から一個一個レンガを剥がし始めた。

「ふん! あの左官はふっかつけた値段を言ったけれど、女の私でも出来る」
と、勝ったような気分が続いていた。三分の一くらい、隣の室との空間が出来た時である。天井がグラーツと、静かにこちらへ傾いてきた。今、手に掴んでいるレンガを、一枚外したら、屋根が総崩れになると感じた。天井の重心が、そのたつた一枚にかかってしまったらしい。私は、そつと逃げるように、梯子を下りた。その時、丁度あの左官が、様子を見に入ってきたのだ。男は、くたびれた服装に、丸い目で、小さな体をしている。彼は室を覗いたと同時に、仰天した。
「タダメいから、オレにさせてくれ! 頼む!」
普通なら逃げ出すような、この仕事...もちろん私は頼んだ。彼はあんな体中で、緊張して、慎重にやり遂げてくれた。一介のブラジル人である。この男の誠意は、言葉に出来ないほど、私に重く伝わった。金額も安くしてくれた。
けれど傾いた天井は、そのままの姿になった。胸は痛んだが、家主には内緒にせざるを得なかった。今のふところ具合では、俺びのしようがない。きつと後で出来ると思った。

滝友梨香さんが特選受賞

明治神宮献詠短歌大会

明治神宮献詠短歌大会「第15回」の入賞発表が、明治神宮参集殿で先月23日に行われた。当地から応募した滝友梨香さん(76、高知)が初参加で見事、特選を受賞した。例年3千首前後が寄せられ、最高位の「特選」には10人しか選ばれない。次が「入選」の20人、「佳作」が170人となっている。「昇化せよと歌める



滝友梨香さん

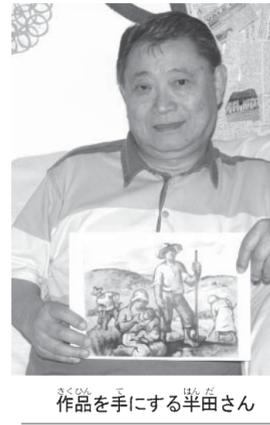
賞の知らせを受けた時は驚いたそう。「さくじのよな賞だから」と静かに喜んだ。
滝さんは日本の塔短歌会に所属し、自らも伯国塔短歌会を主宰。「文学少女の端くれだった」と語る滝さんを、短歌の世界に誘い込んだのは短歌集「二つの声」(小西薫著、だつたという。

今後の目標について、聖市内の短歌人の実力向上と自身の後継者育成を挙げた。「皆さん各々の短歌会に参加されていると思うが、色々な表現を身につけてくれる」とし、会派を越えて実力を磨き合いたいと語った。
特選には、「春の大祭奉祝献詠短歌大会で2007年に藤田朝春さん、2008年に川上美枝子さん、2012年に小濃芳子さんと富岡伸子さん。今回と同じ「秋の大祭」では2006年に原君子さん、2013年に筒井博さんが選ばれている。

移民作家の半田知雄さんの残した絵画作品が販売されている。同氏が逝去して20年、また生誕110周年を迎え、息子ペドロさんが東洋街の事務所(Guia de Curitiba, 332)で取り扱っている。
1917年に来伯した知雄さんは、32年に美術学校へ通った。その後35年に聖美会を設立するなど、日本人移民の芸術活動の草分け的存在だ。

購入希望者は事前連絡の上、事務所作品を選び気に入ったものがあれば購入できる。購入の際には購入証明書に記入が必要。
案内のため来社した半田さんは「数が少なくなっています。早めの連絡を」と呼びかけた。
問い合わせは半田さん(電話)11-332710806、メールpetroland@hotmail.com)まで。

息子が遺作を販売
購入希望者は事前連絡の上、事務所作品を選び気に入ったものがあれば購入できる。購入の際には購入証明書に記入が必要。



作品を手にする半田さん

シヨロライヴ盛況に

世代越え伝統音楽親しむ



若手バンドの演奏を若者からお年寄りまでが楽しんだ(提供写真)

メンバーは20代が中心ながら専門学校を卒業した実力者の演奏に、若者から高齢者まで4、50人が演奏に耳を傾けた。「シヨロに親しむ機会を作りたい」と発起したライブでは、成り立ちや背景を日本語で解説するなどした。
最後はシヨロの名曲「カリニョーゾ」を大合唱して閉幕。ライブを通じて親しみのある曲が好評だった。青木さんは「日本人や日系人にくさん来て頂きました。メンバーとも「またやりたいね」と話しています」と笑顔を見せ、次回開催にも意欲を見せた。

町へ戻る
「この仕事を今止めるなら、持っているトラクトールを売って、借金が丁度ゼロになる。どうするか」
私は嬉しかった。やっとな、町で暮らすことが出来る。とうとう、すってんてんになった。

「この仕事を今止めるなら、持っているトラクトールを売って、借金が丁度ゼロになる。どうするか」
私は嬉しかった。やっとな、町で暮らすことが出来る。とうとう、すってんてんになった。



(38)

Advertisement for 'O Jeitinho no Japão para os brasileiros' (Practical Guide for Japanese Living in Brazil) with pricing and contact information.

